

スーパーグローバル大学（SGU）創成支援事業のロジックモデル（令和2年3月改訂）

背景

- ▶ 経済社会・高等教育のグローバル化
- ▶ 生産年齢人口の減少
- ▶ デジタル革命・イノベーション創発の必要性
- ▶ 都市一極集中と地方創生
- ▶ 存在感ある国づくり：高等教育外交

大学は国の成長を牽引する知的拠点としての役割が求められる

インプット

SGU予算

物品費

人件費

謝金

旅費

その他

自己財源

運営費交付金、学納金、寄附金 等

アクティビティ

- ① 教育・事務組織の再編
- ② 学内規程等の見直し
- ③ 教育プログラムの構築・実施
- ④ 海外大学のガバナンス・マネジメント等の事例調査
- ⑤ 研修（語学、FD、SD等）
- ⑥ 外国語による広報、情報提供
- ⑦ 多様な国籍の教員による授業の実施
- ⑧ シンポジウムの開催
- ⑨ 海外大学との連携協定 等

アウトプット

徹底した大学改革と国際化

A 国際化関連

- ・ 多様性[①⑦⑨]
- ・ 流動性[①③⑦⑧⑨]
- ・ 留学支援体制[①③④⑤⑥⑨]
- ・ 語学力関係[③⑤⑥⑦]
- ・ 教務システムの国際通用性[②③⑦⑧⑨]
- ・ 柔軟な学事暦[②④⑥⑨]

B ガバナンス改革関連

- ・ 年俸制の導入[②④]
- ・ 国際通用性を見据えた採用と研修[①④⑤⑥]
- ・ 事務職員の高度化への取組[①④⑤]

C 教育の改革的取組

- ・ ナンバリング[②④]
- ・ シラバスの英語化[⑥⑨]
- ・ 英語民間試験の学部入試への活用[②]

初期アウトカム

ガバナンス[B]

- ・ 国際化のための学内意識の醸成
- ・ 国際化推進にプライオリティをおいた意思決定

組織[A、B]

- ・ SGU採択校としてのブランド化の進展
- ・ キャンパスの国際化
- ・ 人事、教務システムの整備
- ・ 事務職員の高度化
- ・ 外部資金・寄附金等の獲得による自走化の進展

教育・研究[A、C]

- ・ 教職員の多様化
- ・ 学生の流動性の向上（日本人学生の留学、外国人留学生の受け入れ、大学間学生交流）
- ・ 留学支援体制の構築・強化
- ・ 国際化に対応した学事暦の柔軟化
- ・ 質を伴った国際共同学位プログラムの展開（ジョイントディグリー等の開設）

「日本の大学」から「世界の大学」へ

中・長期アウトカム

大学の**体質改善**による**組織文化の変化**

国際化を先導するグローバル大学を日本に創設

- 外国人教員・留学生の受け入れ環境整備
- 日本人学生のグローバル対応力強化（語学力、国際感覚・教養）
- 国際交流・研究ネットワークの構築・拡大（共同学位の授与等）

補助金終了後の自走化

SGUの成果普及

SGU以外の大学

SGUの成果を踏まえ、各大学の特性・事情を踏まえた国際化の進展

大学の国際競争力強化

高等教育の国際通用性の向上

高度な頭脳循環・優れた人材育成の基盤整備

インパクト

日本の大学において、

- 世界を舞台に活躍できる人材、我が国の安全保障・外交政策に資する人材、日本経済を牽引・発展させる、イノベティブで付加価値を持った人材の輩出
- 各分野における世界第一線の研究に基づく技術革新
- 世界中から優秀な留学生が集い、人材のハブが形成され、我が国の国際化が進展

上記が絶えず生み出される「社会システム」を構築し、

- 高い教養と専門的能力の涵養による一人一人の豊かな生活の実現
- 科学技術イノベーションを通じた技術革新による社会の持続的発展

インパクト達成に向けた他の政策例

- 大学教育の質保証、情報公開
- リカレント教育の推進
- 社会人学生受入
- 雇用の流動化
- 初等中等教育との連携